

## 賢い人たちの言葉を聞きましょう

「耳を傾けて賢い人たちの言葉を聞け」。[格言 22:17](#) 耳を傾けて賢い人たちの言葉を聞け。私の知識を心から受け入れるためである。

### [123 番の歌](#) 神の秩序にいつでも従う

何を学ぶか\*エホバに仕える人たちは、聖書に基づく助言やアドバイスに耳を傾けることの大切さをよく理解しています。とはいっても、それに従うのは難しいこともあります。なぜでしょうか。どうすれば、そうした助言やアドバイスを役立てることができるでしょうか。

1. どんな形で助言やアドバイスを与えられることがありますか。私たち全てに助言やアドバイスが必要なのはなぜですか。

私たちは誰でも、助言やアドバイスを必要とするものです。信頼している人に自分からアドバイスを求める事もありますが、私たちのことを心配した兄弟から、このまま行くと「道を踏み外して後悔するようなことをしてしまう危険がある」と指摘されることもあるでしょう。（[ガラ 6:1](#) 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチヤンとして十分に資格がある（\*聖なる力に導かれている）皆さんは、その人を優しく（\*温和な精神で）正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください）また、重大な間違いを犯した後に助言を受けるということもあるかもしれません。どんな形で助言やアドバイスを与えられるとしても、私たちはそれに耳を傾ける必要があります。そうするなら、私たちのためになり、命を守ることもできるからです。（[格 6:23](#) おきてはランプ、律法は光、指導のための戒めは命への道）

2. [格言 12 章 15 節](#)からすると、助言やアドバイスに耳を傾けるべきなのはなぜですか。

2 この記事の主題聖句には、「賢い人たちの言葉を聞け」とあります。（←[格 22:17](#) 知らないことは何もない、という人は一人もいません。自分よりもたくさんの知識を持っていて、経験を多く積んでいたりする人が必ずいるものです。（[格言 12:15](#) 愚かな人は自分の道は正しいと思うが、賢い人は助言を受け入れるを読む。）ですから、助言やアドバイスに耳を傾けることは、謙遜の表れです。自分には限界があることや、目標を達成するには助けが必要であることをわきまえていることになるからです。賢い人だったソロモン王も、聖なる力に導かれて、「助言者が多ければ達成される」と書きました。（[格 15:22](#)）



どちらの助言の方が受け入れにくく感じるだろうか。（3-4節を参照。）

### 3. 助言にはどんなものがありますか。

3 助言には、間接的なものと直接的なものがあります。間接的な助言とは何でしょうか。例えば、聖書や出版物を読んでいる時に、自分の考え方や決定について見直し、調整しようという気持ちになることがあるかもしれません。（[ヘブ 4:12](#) 神の言葉は生きていて、力を及ぼし…心の中にある考え方や願いを明らかにする）そのような場合、間接的な助言を受けたことになります。では、直接的な助言とは何でしょうか。長老や他の資格ある兄弟から、改善できる点について指摘されることがあるかもしれません。そのような場合、直接的な助言を受けたことになります。誰かが私たちを深く愛して聖書に基づく助言を与えてくれる時、それを受け入れて当てはめることによって、感謝を表すことができます。

### 4. 伝道の書 7章 9節によると、助言を受けた時、どんなことをしてはいけませんか。

4 そうはいっても、直接的な助言を受け入れるのは難しいことがあります。腹が立つことさえあるかもしれません。なぜでしょうか。自分が不完全だということを認めるのはそれほど難しくありません。それでも、ほかの人から自分のできていないところについて指摘されると、受け入れにくく思う場合があります。（[伝道の書 7:9](#) すぐに腹を立ててはならない。腹立ちは愚かな人の胸にとどま

る(if\*愚かな人の特徴だ)を読む。) 自分は悪くないと考えて言い訳したり、助言を与えてくれた人の動機を疑ったり、助言の仕方が悪いと感じたりすることがあるかもしれません。助言を与えてくれた人の欠点に目を向けて、「あの人から助言される筋合いはない」とか、「あの人にとって欠点がある」と思うこともあります。さらに悪いことに、自分が気に入らない助言は無視し、自分が気に入るような助言をほかの人に求めることさえするかもしれません。

5. この記事ではどんなことを考えますか。

5 この記事では、①助言を退けた人と助言を受け入れた人の例を聖書から調べます。また、②どうすれば助言やアドバイスを当てはめて役立てることができるかも考えます。

## 助言を退けた人

6. 助言に対するレハベアム王の反応から、どんなことを学べますか。

6 ソロモンの子レハベアムの例を考えてみましょう。レハベアムが王になった時、民がやって来て、ソロモンに負わされた荷を軽くしてほしいと願い出ました。レハベアムは、どうすべきかについて年長者たちに相談しました。それは良いことでした。年長者たちは、民の願いを聞き入れるなら民はずっとあなたに仕えるだろう、と言いました。(王一 12:3-7 人々はヤラベアムを呼び寄せた。その後、ヤラベアムとイスラエルの会衆全体はレハベアムのもとに行き、こう言った。4 「あなたの父上は私たちに過酷な荷(d\*てんびん棒)を負わせました。あなたがその過酷な労働を楽にし、あなたの父上に負わされた重い(\*つらい)荷(d\*てんびん棒)を軽くしてくださるなら、私たちはあなたに仕えます」。5 レハベアムは言った。「いったん帰り、あさって(\*3日で)戻ってきなさい」。それで民は去っていった。6 レハベアムは、父ソロモンが生きていた頃に父に仕えていた年長者(\*長老)たちに相談し、こう言った。「この民にどう答えたらいよいか、何か助言がありますか」。7 彼らは言った。「今日、あなたがこの民に仕え、民の願いを受け入れて良い返答をするなら、民はずっとあなたに仕えるでしょう」)しかし、レハベアムはこの助言が気に入らなかつたようで、一緒に育った同年代の人たちにも相談しました。彼らはおそらく40代だったので、ある程度の人生経験を積んでいたでしょう。(代二 12:13 レハベアムはエルサレムで権力を強め、引き続き治めた。レハベアムは41歳で王になり、エホバがご自分の名を付すためにイスラエルの全部族の領地から選んだ都市エルサレムで17年治めた。王の母はナアマといい、アンモン人だった)しかし、この時はレハベアムに良くない助言をしました。民の荷をさらに重くするようにと勧めたのです。(王一 12:8-11 ところが、レハベアムは年長者(\*長老)たちの助言を無視し、共に成長して今は自分の従者となっている若者たちに相談した。9 こう尋ねた。「民にどう答えたらいよいか、何か助言があるか。民は、『あなたの父上が私たちに負わせた荷を軽くしてください』と言っている」。10 レハベアムと共に成長した若者たちはこう言った。「民が、『あなたの父上は私たちに重い荷を負わせました。私たちのためにその荷を軽くしてください』と言っているなら、こう言うとよいと思います。『私は父よりも厳しくする(d\*私の小指は私の父の腰よりも太くなる)。11 父はあなたたちに重い荷を負わせたが、私はその荷をいっそ重くする。父はあなたたちをむちで懲らしめたが、私はとげむちで懲らしめる』」)レハベアムは異なる2つの助言を聞いて、どちらに従うべきかをエホバに尋ねることもできたでしょう。しかし、そうするのではなく、自分が気に入った、同年代の人たちからの助言に従いました。どうなったでしょうか。レハベアムにとっても、民にとっても、悲惨な結果になりました。私たちが受ける助言

やアドバイスも、受け入れやすいものばかりというわけではないかもしれません。とはいえ、その助言やアドバイスが聖書に基づいているなら、私たちはそれに耳を傾ける必要があります。

7. ウジヤ王の例からどんなことを学べますか。

7 ウジヤ王も助言を退けました。ウジヤは、神殿で祭司だけが入ることを許されていた場所に入つていき、香をたこうとしました。エホバに仕える祭司たちは、ウジヤを止めようとしてこう言いました。 「ウジヤ、 エホバに香をたくのはあなたがしてよいことではありません！ 香をたいてよいのは祭司だけです」。それに対して、ウジヤはどうしたでしょうか。この時、謙遜に助言を受け入れて、すぐにその場を離れていたなら、エホバから許していただけたかもしれません。しかし、ウジヤはそうするのではなく、「激怒し」ました。なぜそのような反応をしたのでしょうか。ウジヤは、「自分は王だから、したいことは何でもできる」と考えていたのかもしれません。しかし、それはエホバの考えではありませんでした。ウジヤは、出過ぎた行動をした結果、エホバに打たれ、「死ぬ日まで重い皮膚病を患」いました。 (代二 26:16-21) ところが、ウジヤは強くなるとすぐに心が傲慢になって身を滅ぼした。エホバの神殿に入って香の祭壇で香をたこうとし、エホバ神に対して不忠実なことをしたのである。 17 祭司アザリヤとエホバの勇敢な祭司 80 人が、すぐさまウジヤの後から入つていった。 18 彼らはウジヤ王の前に立ちはだかって、言った。「ウジヤ、 エホバに香をたくのはあなたがしてよいことではありません！ 香をたいてよいのは祭司だけです。祭司たちはアロンの子孫で、神聖なものとされているからです。この聖なる所から出ていってください。あなたは不忠実なことをしました。そのため、あなたがエホバ神から栄光を与えられることはできません」。 19 しかしウジヤは、香をたくための香炉を手にしたまま、激怒した。祭司たちに怒りをぶつけていると、彼の額に重い皮膚病が現れた。エホバの家の中にいた祭司たちの前、香の祭壇のそばでのことだった。 20 祭司長アザリヤと祭司たち皆が見ると、彼の額は重い皮膚病に侵されていた。彼らは急いでウジヤをそこから出そうとし、ウジヤ自身も慌てて出ていった。エホバが彼を打ったのである。 21 ウジヤ王は死ぬ日まで重い皮膚病を患った。重い皮膚病のため、隔離された家に住み続けた。エホバの家から閉め出されたのである。ウジヤの子ヨタムが王の家(\*宮殿)を治め、民を裁いた) ウジヤの例からどんなことを学べますか。私たちはどんな立場にあるとしても、聖書に基づく助言やアドバイスを退けるなら、エホバを深く悲しませてしまうことになる、ということです。

## 助言を受け入れた人

8. ヨブは助言を与えられた時、どうしましたか。

8 聖書には、ここまで考えてきたような悪い例だけでなく、助言を受け入れて祝福された人たちの良い例も載せられています。ヨブのことを考えてみましょう。ヨブは神を畏れる人でしたが、完全ではありませんでした。強いストレスを感じていたために、正しくないことを言ってしまいました。その結果、エリフとエホバから率直な助言を与えられました。ヨブはどう反応したでしょうか。助言を謙遜に受け入れてこう言いました。「私は話しましたが、分かっていませんでした。……言ったことを撤回し、後悔して土と灰をかぶります」。エホバは、謙遜さを示したヨブを祝福しました。 (ヨブ 42:3-6 あなたはこうおっしゃいました。『知らないのに、私の考えを覆い隠しているのは誰か』。私は話しましたが、分かっていませんでした。あまりにも素晴らしい事実を理解していませんでした。 4 こうもおっしゃいました。『どうか聞いてほしい。私が話そう。あなたに質問しよう。あなたは私に答えな

さい』。5 あなたのことを見聞きはいましたが、今ではあなたをこの目で見ております。6 それで、言ったことを撤回し、後悔して土と灰をかぶります」12-17 エホバがヨブを祝福したので、ヨブの残りの人生は以前よりも豊かになった。ヨブは、羊1万4000匹、ラクダ6000頭、牛1000頭、雌ロバ1000頭を持つようになった。13 さらに、息子7人と娘3人を持つようになった。14 そして長女をエミマ、次女をケツィア、三女をケレン・ハプクと名付けた。15 ヨブの娘たちは美しい女性はどの地方にもいなかった。娘たちは兄弟たちと同じように父親から財産をもらった。16 こうしてヨブはさらに140年生き、自分の子供と孫、4世代を見た。17 ヨブは長生きして充実した日々を送り、やがて生涯を終えた)

9. モーセが助言を受け入れる点で良い手本と言えるのはなぜですか。

9 重大な間違を犯した後で助言を受け入れたという点で、モーセも良い手本です。ある時、モーセは腹を立て、エホバに敬意を示しませんでした。その結果、約束の地に入ることができなくなりました。（民 20:1-13 イスラエル人の民全体は、第1の月にチンの荒野に入り、民はカデシュにとどまるところになった。ミリアムはそこで死に、葬られた。2 そこには民のための水がなく、民はモーセとアロンに逆らって集合した。3 民はモーセに不平を言った。「兄弟たちがエホバの前で死んだ時に、私たちも死んでいればよかったです。4 どうしてエホバの会衆をこの荒野に連れてきて、私たちと家畜をここで死なせるのか。5 どうして私たちをエジプトから連れ出して、こんなひどい場所に連れてきたのか。ここでは種をまけず、イチジクやブドウやザクロも育たない。飲む水もない」。6 モーセとアロンは会衆の前から離れ、会見の天幕の入り口に来てひれ伏した。するとエホバの栄光が現れ始めた。7 エホバはモーセに言った。8 「つえを取って民を呼び集め、あなたと兄のアロンが民の目の前で大岩に話して、水を出させなさい。あなたは民のために大岩から水を出し、民と家畜に飲ませる」。9 モーセは命じられた通りにエホバの前からつえを取った。10 モーセとアロンは会衆を大岩の前に呼び集め、モーセが民に言った。「さあ聞きなさい、反逆者たち！ この大岩から私たちがあなたたちのために水を出さないといけないのですか？」。11 モーセは手を上げ、つえで大岩を2度打った。すると、たくさんの水が出てきて、民と家畜は飲みだした。12 その後エホバはモーセとアロンに言った。「あなたたちは、私に信仰を示さず、イスラエルの民の目の前で私を神聖なものとしなかったので、私が与える土地にこの会衆を連れて入ることはない」。13 これがメリバ(m\*言い争い)の水である。イスラエル人がそこでエホバに不平を言い(\*と言い争い)、神は彼らの間で自分を神聖なものとした）モーセは、この決定を考え直してほしいとエホバにお願いしましたが、エホバから、「この件について二度と私に話してはならない」と言われてしまいました。（申 3:23-27 どうか私に渡つていかせ、ヨルダン川の向こうの良い土地、良い山地とレバノンを見させてください』。26 しかし、エホバは皆さんのことでの私に激怒したままで、願いを聞き入れてくださいませんでした。エホバはこう言いました。『あなたの話はもう十分だ！ この件について二度と私に話してはならない。27 ピスガの頂上に登り、西、北、南、東に目を向けて、その土地を自分の目で見なさい。あなたはこのヨルダン川を渡らないからである）この時、モーセはふてくされるのではなく、エホバの決定を受け入れました。そして、エホバは引き続きモーセにイスラエルを導かせました。（申 4:1 イスラエル、私が教える規定と法規を聞いて、守りなさい。皆さんが生き、父祖の神エホバが与えてくださる土地に入ってそれを取得するためです）ヨブもモーセも、助言を受け入れる点で私たちの良い手本となっています。ヨブは、言い訳したりせずに見方を調整しました。モーセは、エホバからの助言を受け入れ、自分が強く願っていたことがかなわなくなってしまった、忠実を保ちました。

10. (ア) 格言4章10-13節からすると、助言を受け入れることはどのように私たちのためになりますか。 (イ) 助言に対して良い態度を示したどんな実例がありますか。

10 ヨブやモーセのような忠実な人たちの手本に従うなら、私たちのためになります。 (格言4:10-13) わが子よ、聞いて、私の言葉を受け入れよ。 そうすれば、あなたは長く生きられる。 11 私はあなたに知恵の道を教え、真っすぐな道を歩ませる。 12 あなたが歩くとき、歩みは妨げられず、走っても、つまずかない。 13 指導をしっかりとつかめ。それを放してはならない。それを失ってはならない。命が関係しているからであるを読む。) 大勢の兄弟姉妹がそのようにしています。コンゴのエマニュエル兄弟はこう言っています。\*一部の名前は変えてあります。 「会衆の責任ある兄弟たちは、私が信仰の面で“沈没”しかけていることに気付いて、救助に来てくれました。私は、兄弟たちからの助言を受け入れたので、さまざまな問題を経験せずに済みました」。カナダの開拓者であるメーガン姉妹はこう言います。 「耳が痛いと思うこともありますが、助言に耳を傾けるのは本当に大切なことです」。クロアチアのマルコ兄弟はこう言います。 「私は会衆での責任ある立場を失ってしまいました。でも、今考えてみると、与えられた助言のおかげで、エホバとの絆を取り戻すことができたんだと思います」。

11. カール・クライン兄弟は、助言を受け入れることについてどんなことを述べていますか。

11 助言を受け入れてそこから学んだ人として、統治体の成員だったカール・クライン兄弟がいます。兄弟はライフ・ストーリーの中で、親しかったジョセフ・F・ラザフォード兄弟から強い助言を受けた時のことについて語っています。兄弟は最初、助言に対して良い反応ができませんでした。こう述べています。 「その後また[ラザフォード]兄弟に会った時に、兄弟は明るい態度で、『こんなにちは、カール!』と言いました。しかし、心の傷がいえていなかったために、私は聞き取れないような小さな声でいさつをしただけでした。するとラザフォード兄弟は、『気をつけなさい、カール! 悪魔があなたを捕らえようとしています!』と言いました。私はどぎまぎして、『いえ、何でもないんです、ラザフォード兄弟』と答えました。しかし、ラザフォード兄弟にはすっかりお見通しだったので、『いいでしょう。ただ気をつけなさい。悪魔があなたを捕らえようとしています』というその警告を繰り返しました。まさに兄弟の言うとおりでした。ある兄弟に対して恨みの気持ちを抱くと、相手の兄弟が……言う権限のある事柄を述べていた場合にはなおのこと、悪魔のわなにかかる危険に防備もなくさらされることになります」。\*「ものの塔」1984年10月15日号24-31ページ (エフェ4:25-27) 皆さんは偽りを捨て去ったのですから、隣人に真実を語りましょう。私たちも皆で1つの体を構成しているのです。26 腹が立っても、罪を犯してはなりません。怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう。27 悪魔に隙を与えてはなりません) クライン兄弟はラザフォード兄弟からの助言を受け入れ、2人はその後も友情を保ちました。

## 助言を受け入れる上で何が助けになるか

12. 謙遜であることは、助言を受け入れる上でどのように助けになりますか。 (詩編141:5)

12 助言を受け入れる上で、どんなことが助けになるでしょうか。謙遜のことです。私たちは、自分が不完全であることや、時には愚かなことをしてしまうということを覚えておく必要があります。先ほど考えた通り、ヨブは間違った考え方をしてしまいましたが、それを正したのでエ

ホバから祝福されました。そのように正すことができたのは、ヨブが謙遜だったからです。謙遜だったからこそ、自分よりずっと年下のエリフの助言さえ受け入れることができたのです。（ヨブ 32:6, 7 そこでブズの子孫、バラクエルの子エリフは話し始めた。「私は若く、皆さんはお年を召しています。それで私は敬意を込めて身を引き、自分が知っている事を述べませんでした。7 『年老いた者(d\*日々)が語り、年を重ねた者が知恵を知らせればよい』と考えました）私たちも、自分には当てはまらないと思えるような助言を受けたり、年下の人から助言を与えられたりすることがあるかもしれません、謙遜であるなら、こうした助言を受け入れて当てはめることができます。カナダのある長老はこう言います。「人は自分のことを客観的に見ることができない」ので、誰かから助言してもらわなければ、成長することはできません」。聖なる力が生み出すものをいっそう示したり、宣教をさらに上手に行ったりする面で、私たちは皆、成長する必要があるのではないかでしょうか。（詩編 141:5 正しい人が私を打つとしても、それは揺るぎない愛の表れです。私を戒めるとしても、それは頭に注がれる油のようであり、私がそれを拒むことはありません。彼らが災難に遭う時、私は祈り続けますを読む。）

13. 助言をどのように考えることができますか。

13 助言をエホバが愛してくださっている証拠と考える。エホバは私たちの幸せを心から願っています。（格 4:20-22 わが子よ、私の言葉に注意を払え。私の言葉をよく聞くように。21 それを見失ってはならない。心にしっかりとどめよ。22 それを受け入れる人たちにとって、それは命であり、全身を健康にする）ですから、エホバが聖書や出版物や経験豊かな兄弟姉妹を通して私たちに助言を与えることは、エホバが愛してくださっている証拠なのです。ヘブライ 12 章 9, 10 節また、私たちは人間の父親から矯正を受け、父親に敬意を払いました。ではなおのこと、天の父(\*聖なる力によって生活を導いてくださる父)に従って生きるべきではないでしょうか。10 人間の父親は、自分が良いと思うように私たちを短い間矯正しましたが、天の父は、私たちのために矯正を与え、私たちが神のように聖なる者になれるようにしてくださいますに、「天の父は、私たちのために矯正を与える[る]」とある通りです。

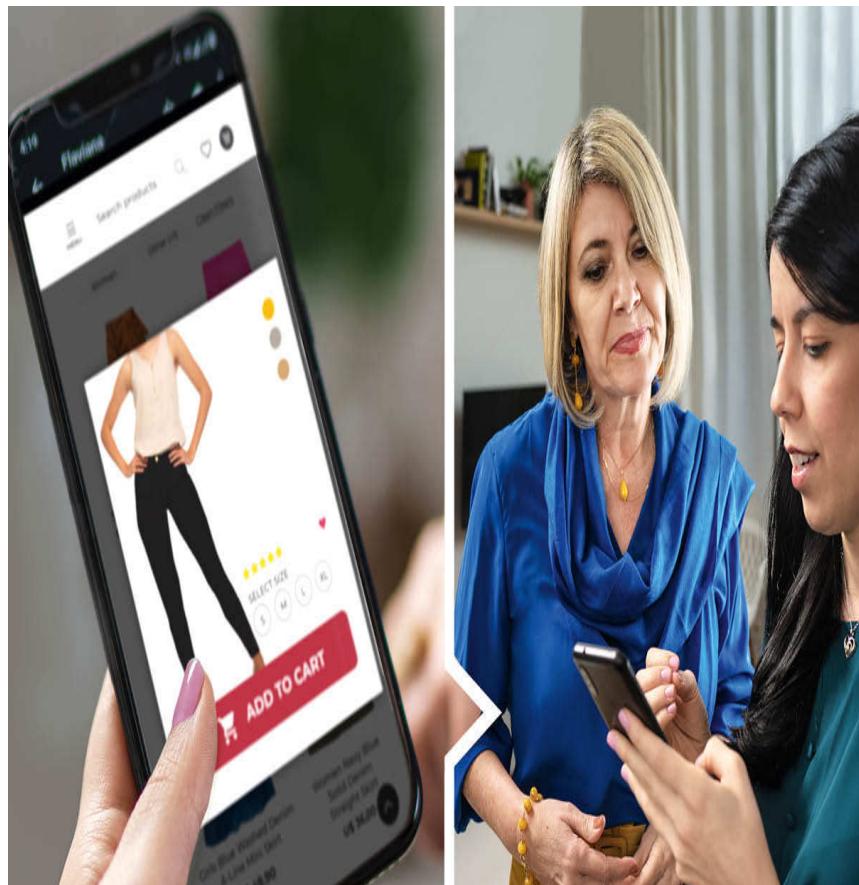
14. 助言を受けた時には、何に注目するべきですか。

14 助言の仕方ではなく、内容に注目する。助言する人は、それを受け入れやすい仕方で与えるように努力する必要があります。\*次の記事では、どうすれば上手に助言できるかを考えます。（ガラ 6:1 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして十分に資格がある(\*聖なる力に導かれている)皆さんは、その人を優しく(\*温かな精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されがないように注意してください）とはいって、助言を受けた時には、もっとほかの方法があったのではないか、と感じることもあるかもしれません。そのような時にも、助言の内容に目を向けるのは良いことです。次のように考えてみることができます。「助言の仕方には気に入らないところがあつたけれど、内容には思い当たるところがないだろうか。助言をしてくれた人の不完全さではなく、助言の内容に目を向けられないだろうか」。どんな助言を与えられるとしても、それを生かすよう努力するのは良いことです。（格 15:31 命を与える戒めを聞く人は、賢い人々の中で暮らしている）

自分から助言を求めるなら良い結果が得られる

15. 自分から助言を求めると良いのはなぜですか。

15 聖書は私たちに助言を求めるよう勧めています。格言 13 章 10 節 …助言を求める(\*協議する)人たちには知恵があるには、「助言を求める人たちには知恵がある」とあります。本当にその通りです。誰かが助言してくれるのを待つのではなく、自分から助言を求める人は、そうしない人よりも、クリスチャンとしていっそう成長できるものです。ですから、自分から助言を求めるようにしましょう。



この若い姉妹が、年長の姉妹にアドバイスを求めているのはなぜか。（16 節を参照。）

16. どんな時に助言やアドバイスを求めることができますか。

16 どんな時に仲間の兄弟姉妹に助言やアドバイスを求めるといでどうか。幾つかの例を考えてみましょう。（1）聖書レッスンを行っている姉妹は、経験を積んだ伝道者にレッスンに参加してもらい、レッスンの後でどうすればもっと上手に教えることができるかについてアドバイスを求めるすることができます。（2）服を買おうと思っている独身の姉妹は、年長の姉妹に率直な意見を求めることができるでしょう。（3）初めて公開講演を行う兄弟は、経験を積んだ講演者に、話をよく聞いて改善できる点を教えてくれるよう頼むことができます。講演を長年行っている兄弟も、同じようにアドバイスを求め、それを当てはめるのは良いことです。

17. どうすれば助言を役立てることができますか。

17 私たちはこれからも、直接的な助言や間接的な助言を受けることでしょう。そういう時には、この記事で学んだ点を思い出るようにしましょう。謙遜であり続けることは大切です。助言の仕方ではなく内容に注目しましょう。そして、与えられた助言を当てはめるようにしましょう。生まれた時から賢い人は一人もいません。それでも、聖書が約束している通り、「助言を聞き、指導を受け入れるなら、「賢くなる」ことができるのです。（[格 19:20](#) 助言を聞き、指導を受け入れよ。将来、賢くなるため）

どのように答えますか

### I. 助言を退けた聖書中の例から、どんなことを学べますか。

- ・S06 レハベアムは異なる2つの助言のどちらに従うべきかをエホバに尋ねず、自分が気に入った同年代の人たちからの助言に従い、悲惨な結果になった。私たちが受ける助言やアドバイスも、受け入れやすいものばかりではなくても、その助言やアドバイスが聖書に基づいているなら、私たちはそれに耳を傾ける必要がある
- ・S07 ウジヤは、神殿で祭司だけが入ることを許されていた場所に入っていたとき、香をたこうとした時、祭司たちがウジヤを止めようとしたが、激怒しその助言に従わず出過ぎた行動をした結果、エホバに打たれ、死ぬ日まで重い皮膚病を患った。私たちはどんな立場にあるとしても、聖書に基づく助言やアドバイスを退けるなら、エホバを深く悲しませ、是認を失うことになる

### II. 助言を受け入れた聖書中の例から、どんなことを学べますか。

- ・S08 ヨブは強いストレスを感じていたために、正しくないことを言ってしまった結果、エリフとエホバから率直な助言を受けたが、言い訳せず謙遜に受け入れ見方を調整したため、祝福された
- ・S09 ある時、モーセは腹を立て、エホバに敬意を示さなかつたので、約束の地に入ることができなくなつた。この神の決定を考え直してもらえたが、モーセはふてくされるのではなくエホバの決定を受け入れたため、エホバは引き続きモーセにイスラエルを導かせ、忠実を保った
- ・S10 こうした忠実な人たちの手本に従うなら、私たちのためになり、命を得ることになる

### III. 助言を受け入れる上で、何が助けになりますか。

- ・S12 自分には当てはまらないと思えるような助言を受けたり、年下の人から助言を与えられたりしても、謙遜であるなら、こうした助言を受け入れて当てはめることができる
- ・S13 エホバが聖書や出版物や経験豊かな兄弟姉妹を通して私たちに助言を与えることは、エホバが愛してくださっている証拠であると考える
- ・S14 助言を受けた時には、もっとほかの方法があったのではないか、と感じても、その助言の内容に目を向けるのは良いことで、次のように考えてみることができる。「助言の仕方には気に入らないところがあつても内容には思い当たるところがないか。助言をしてくれた人の不完全ではなく、助言の内容に目を向けられないか」。どんな助言を受けるとしても、それを生かすよう努力するのは良いこと

[124番の歌](#) 摺るぎない愛